



<講座報告>

D 「発達が気になる子どもたちへの身体へのアプローチ～大きなふわふわしたボールを使って～」

大阪府立藤井出た支援学校 河野健三先生

河野先生にはファシリテーション・ボール・メソッドについてご講演していただきました。ファシリテーション・ボール・メソッドとは空気量を調節したやわらかいボールを使って心と身体へアプローチするもので、今回実際に体験もさせていただきました。

最初は一人一つのボールを使って全身の体重をかけリラックスするところから始まりました。そのあとリズムに合わせて動いたり、たたいて音を出してみたり、全員が輪になって一人が考えた動きを真似したりなど、いろいろな動きを体験させてもらいました。

後半は、障がいのある子どもたちは身体の動かし方がぎこちなかったり、姿勢が悪かったりしているということを写真で見ながらお話していただき、小さいボールを使うことで座った時の姿勢がよくなった子や、自発的にボールを使うようになっていった子など実際にボールを使うことで改善された子どもたちの様子や動画も見せていただきました。

また、研修に参加された方が実際直面している子どもたちの課題から、ファシリテーション・ボールを使ってどうアプローチしていくかについても具体的にお話ししていただきました。